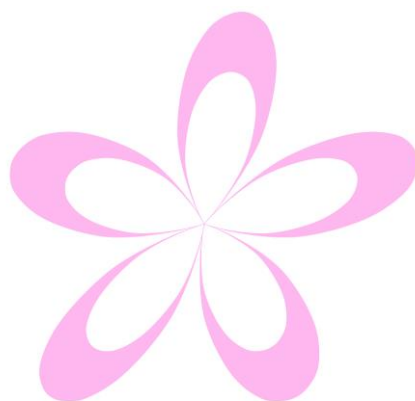


令和2年度 出張講義のご案内

経営学部 経営学科
福祉健康学部 福祉学科
福祉健康学部 こども学科
福祉健康学部 健康スポーツ科学科
看護学部 看護学科



福山平成大学
FUKUYAMA HEISEI UNIVERSITY

(問い合わせ先)

〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1

福山平成大学 入試室

TEL 084-972-5001 (代表)

FAX 084-972-7771

E-mail nyushi@heisei-u.ac.jp

福山平成大学は、社会貢献の一環として本学教員が高等学校に出向いて高校生向けに講義を行う「出張講義」に積極的に対応しております。

この「福山平成大学出張講義」を積極的にご活用いただき、本学あるいは大学進学目標や将来の就職目標を考え、進路選択にお役立ていただければ幸いです。

本学に希望をお出しいただく際には以下の点を参考にされた上で、お気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

各高校の先生方には、ご多忙のところ恐縮ではございますが、学校行事のなかに組み込んでいただければ幸いです。

～ 出張講義の申し込みについてのお願い ～

申し込みにつきましては、実施予定日の1ヶ月前までに入試室にご一報ください。

もし、期日が迫っている場合でもできる限り対応させていただきます。

なお、本学の行事のため希望の期日に教員を派遣できない場合もございますのでご了承ください。

【申込手順】

1 希望学科・テーマ（担当教員）等の決定

本紙を参照の上、希望学科・テーマ（担当教員）等を決定してください。希望については、できる限り対応させていただきますが、当該分野担当教員の都合等により派遣できない場合もございます。

特にテーマ（担当教員）を選択されない場合、学部・学科名の希望のみで、派遣教員を選出することも可能ですが高校側での開催趣旨に即した教員を派遣するため、できる限りテーマ（担当教員）の希望をお知らせください。

2 入試室へ連絡

希望学科・テーマ（担当教員）等が高校内で決まりましたら、本学入試室にご一報ください。

（福山平成大学 入試室 TEL084-972-5001（代表））【担当：島田】

経 営 学 部

経営学科

氏 名	テ ー マ
川久保和雄 (教 授)	「情報」って何？
小玉 一樹 (教 授)	組織の意思決定
渡辺 清美 (教 授)	ビジネス英語実践学習
福井 正康 (教 授)	パソコンで学ぶ統計分析の話
佐藤 幹 (教 授)	身近で役立つマネジメントの実際—夢を叶える魔法の仕組み—
市瀬 信子 (教 授)	中国語からたどるグローバル社会
佐藤 真司 (教 授)	ICT 社会の進展と情報教育の必要性
江口 圭一 (教 授)	職場での人の心理と行動
芝田 全弘 (教 授)	会社の通知簿を読み
堀越 昌和 (准教授)	現代は企業の時代？
尾崎 誠 (准教授)	暗号の仕組み
本田 良平 (准教授)	英語の歌の楽しみ方
岩本 敏裕 (講 師)	日本企業の経営戦略とは
渡邊 正樹 (講 師)	商品開発のポイント

福 祉 健 康 学 部

福祉学科

氏 名	テ ー マ
大中 章 (教 授)	カウンセリングとは何か？
向井 通郎 (教 授)	福祉の仕事—資格と専門性—
松井 順子 (教 授)	健康寿命と食事 —ダイエットの罠！—
中司登志美 (教 授)	認知症カフェを始めませんか？—始め方と効果について—
中嶋 裕子 (教 授)	「私」を知ろう「他者」を知ろう—日常の心理と精神保健—
岡部真智子 (教 授)	福祉と住まい—サザエさん—家から学ぶ高齢者向け住居—
杉本 浩章 (教 授)	ふくし を学ぼう 私たちの生活と福祉・健康
浅井 智雄 (准教授)	英語を用いたコミュニケーション活動—読むことを起点として
上野 善子 (准教授)	里親ってなあに？あの子はどうして名字が違うの？
藤井 宏明 (准教授)	介護技術は力じゃない
荻野 太司 (准教授)	刑事裁判と福祉
崔 銀珠 (講 師)	自分らしく生きる—社会福祉の心
武村 淳司 (講 師)	福祉用具を作ってみよう！

福祉学科独自のプログラム（詳細な時間等に関しては別紙参照）

テ ー マ：コミュニケーションロボット・福祉用具・介護食の体験講座
担当教員：福祉学科 教員複数名
内 容：今後の介護現場に期待されるコミュニケーションロボットや福祉用具に実際に触れ、介護食の実際を体験的に学びます。

テ ー マ：高校生とともに考える災害福祉講座
担当教員：福祉学科 教員複数名
内 容：避難所運営ゲーム（HUG）や災害対応カードゲーム（クロスロード）を使って、大学生スタッフとともに災害時の取り組みをアクティブラーニングで学びます。

福祉学科独自のプログラムについて

福祉学科では、各教員による出張講義とは別に2つの講座を企画しました。内容は、「福祉用具・介護食」「災害福祉」です。本講座の申込み・ご質問等の問い合わせは「福山平成大学福祉学科」(kikaku-f@heisei-u.ac.jp)までご連絡をお願いします。本出前講座は、出前講座のみでなく、ご要望に応じて本学での講座開催も可能です。

講座の時間や内容等は、ご要望に応じて柔軟にスケジュールを検討させていただきます。

「福祉用具・介護食」講座概要

「福祉用具・介護食」講座では、①本講座の説明、②食事に関する福祉用具の紹介、③介護食の体験、④福祉用具・介護食のグループワーク、本日の講座まとめという内容です。

「福祉用具・介護食」出張講座のスケジュール (例) 講座時間 50分

• 本日の講座説明	10:30 ~ 10:35 (5分)
• 食事に関する福祉用具の紹介	10:35 ~ 10:40 (5分)
• 介護食の体験	10:40 ~ 10:55 (15分)
• 福祉用具・介護食のグループワーク	11:55 ~ 11:10 (15分)
• 本日の講座まとめ	11:10 ~ 11:20 (10分)

「災害福祉」講座概要

「災害福祉」の講座では、福祉避難所運営ゲーム(HUG)を体験します。HUGとは、避難所(H)運営(U)ゲーム(G)を意味します。災害福祉を考えるシミュレーション型訓練ゲームです。現在、中学生から地域住民まで幅広い人がHUGを使って避難所運営の方法や、災害時の対応を学んでいます。

本講座の目的は、避難所で起き得る状況の理解と対応を学び、災害福祉について考えることです。主な内容は、ある市の避難所運営を任されたという想定の下で、グループごとに相談し、次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学びます。複数グループで行うことにより、様々な避難所運営の工夫や課題を共有することができます。

「災害福祉」出前講座のスケジュール (例) 講座時間 110分

• 災害福祉・HUGの説明	10:30 ~ 10:45 (15分)
• HUG実施 ※休憩を含む	10:45 ~ 12:05 (80分)
• HUG実施後振り返り(各グループの感想発表)	12:05 ~ 12:15 (10分)
• 災害福祉のまとめ	12:15 ~ 12:20 (5分)

福 祉 健 康 学 部

こども学科

氏 名	テ ー マ
永井 純子 (教 授)	健康のお話
古賀 一博 (教 授)	教育学研究と教員養成
三藤 恭弘 (教 授)	「物語づくり」の魅力
田辺 尚子 (教 授)	日本人はなぜ英語が苦手なのでしょうか？
中原 大介 (教 授)	「人を支える仕事」の魅力と求められる力について
足立登志也 (准教授)	先生の仕事って？
小野 順子 (准教授)	乳幼児の発達の特徴と保育
川島 範章 (准教授)	心理学のお話
西川 京子 (准教授)	教師学入門～小学校教師の7つの顔にチャレンジしてみよう～
伊藤 憲孝 (准教授)	ピアノで巡る音楽の旅
田中 宏和 (准教授)	インターネットと法
矢野川祥典 (講 師)	「オリンピック・パラリンピック」と「福祉」との意外な関係について
佐伯 岳春 (講 師)	子どもの可能性を引き出すレッジョ・エミリア・アプローチについて

福 祉 健 康 学 部

健康スポーツ科学科

氏 名	テ ー マ
石橋 勇 (教 授)	スポーツ選手のコンディショニング
楠本 恭久 (教 授)	心と身体と呼吸と
沖増 英治 (教 授)	活性酸素と医食同源 ー健康は、食べ物からー
磨井 祥夫 (教 授)	スポーツのバイオメカニクス
中村 雅子 (教 授)	「喫煙の是非について」 ーディベートを用いてー
入澤 雅典 (教 授)	日本の溺死率は、同じ島国のイギリスの 5 倍って知ってる？
上村 崇 (教 授)	情報倫理学 ーネット社会のルールを考えるー
三宅 幸信 (准教授)	アクティブラーニング入門としての、グループワークトレーニング
松田 広 (准教授)	現代スポーツの特徴から
森澤 桂 (准教授)	運動上達の道のり
松井 弘志 (准教授)	バレーボールの歴史と近代バレーボールの特徴
高本 健彦 (准教授)	健康づくりと運動・スポーツ
若井 研治 (講 師)	プレーモデルとプレー原則の設定
河野 洋 (講 師)	スポーツと「日本人らしさ」
藤本 太陽 (講 師)	実力発揮のメンタルトレーニング

看護学部

看護学科

氏 名	テ ー マ
木宮 高代 (教授)	認知症について正しく理解しよう～認知症サポータになろう～
安達 直子 (教授)	いのちの大切さ、性の健康
才野原照子 (教授)	看護学入門 “ 看護の魅力 看護師への道 ”
後藤満津子 (教授)	「こころ」について考えてみよう
齋藤 智江 (教授)	感染対策と健康な体作り
志村千鶴子 (教授)	いのちの誕生 ～新しい家族をつくる～
井上 徹 (教授)	「眼(め)」の話
岡 和子 (准教授)	自分の体を知ろう(体温・脈拍・血圧について)(性教育)
長野扶佐美 (准教授)	子どもの時から身につけよう ～生活習慣病予防～
藤田 晶子 (准教授)	障害とユニバーサルデザイン
伊東 美佳 (准教授)	命を救う心肺蘇生法 ～倒れた人を発見！あなたは助けることができますか？～
曾根 清美 (准教授)	『カウンセリング』って何？ーカウンセリングスキルを知ろうー
大塚 千秋 (准教授)	がんという病気を知ろう
内田 史江 (准教授)	看護師が行う創傷管理を知ろう ～感染のコントロール～
齋藤 公彦 (准教授)	保健師の仕事
山本千佳子 (講師)	高齢者と若者について
福田久仁子 (講師)	こころとからだのリラクゼーション
佐竹 潤子 (講師)	親になる前に学ぶ子どものホームケア
藤原 弘子 (講師)	助産師の仕事について
高垣由美子 (講師)	予防の大切さを知っていますか～身近に起こる熱中症～
大元 雅代 (講師)	超高齢社会 ～私たちが知っておくこと、できること～
平川 幹子 (講師)	生活習慣病について知ろう！
木場しのぶ (講師)	免疫力アップ

看護学科独自のプログラムについて

テ ー マ：認知症を正しく理解、高齢者を支えていこう「認知症サポーター養成講座」
担当教員：教授 木宮高代
内 容：認知症を正しく理解し、「認知症サポーター」になろう

「認知症サポーター養成講座」

厚生労働省では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、新たに「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)を関係11省庁と共同で策定しました。認知症高齢者に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

認知症サポーター養成講座は、小、中、高等学校の生徒、様々な方が受講することができます。本学では、看護学科教員による「認知症サポーター養成講座」を各高等学校で開催し、一人でも多くの高校生に「認知症サポーター」になっていただき、これからのキャリアの第一歩につなげていただきたいと思います。

認知症サポーターは①認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない、②認知症の人や家族に対して温かい目で見守る、③近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する、④地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる、⑤まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍することなどが期待されています。

本講座の申込み・ご質問等の問い合わせは「福山平成大学入試室」までご連絡をお願いします。
講座の時間や内容等は、ご要望に応じて柔軟にスケジュールを検討させていただきます。

認知症サポーター養成講習のスケジュール(例) 講習時間は90分です。

・キャンペーンビデオ	10:30 ～ 10:45 (15分)
・認知症とはなにか	10:45 ～ 11:15 (30分)
・診断・治療、予防について	11:15 ～ 11:35 (20分)
・サポーターとしてなにができるか	11:35 ～ 11:55 (20分)
・××市の相談窓口(地域包括支援センターの紹介)	11:55 ～ 12:00 (5分)
・修了証 (全国協議会から認知症サポーターカード・リング授与)	終了

表



裏



【認定カード】

【オレンジリング(ハンドリング)】